

Town Gallery



鏡野町成人式(1月13日)

鏡野町成人式が開催され、154人の新成人が門出を祝いました。

式典の前には新町地蔵太鼓によるミニコンサートが開かれ、会場には勇壮な太鼓のリズムが響きました。

式辞では山崎町長や来賓の方からお祝いの言葉が贈られ、ビデオレターでは中学校時代の担任の先生方からメッセージが披露され、それぞれの担任の先生が映される度に、歓声が起こっていました。

式典終了後には記念撮影が行われ、会場では引き続き同窓談話会が開かれ、久しぶりの再開を果たした同級生との時間を楽しんでいます。



本村簡易水道通水記念式典(12月22日)

平成16年度より行われていた本村簡易水道工事が完了したことに伴い、恩原高原スキー場パノラマゲレンデレストハウスで通水記念式典が行われました。

この日は山崎町長ほか町関係者や工事関係者など46名が出席し、事業の完了を祝いました。

その後、通水セレモニーでは来賓により通水ボタンが押され、これにより上齋原地域において計画給水人口710人、計画一日水量530m³の給水が可能となりました。



赤米の七草粥を楽しむ会(1月6日)

香南公民館で「赤米の七草粥を楽しむ会」が開かれました。

これは、寺和田・藤屋・新町の人たちを中心に組織している「万葉のみちを育てる会」が、新春の行事として平成3年から毎年この時期に開催しています。

料理は、会員有志の女性たちが前日から仕込みをしたもので、白米4升と3分つきの赤米1升を一晩水にかけて当日炊き上げました。

また七草粥の中には、会員が近所で摘み取ったセリやナズナ、スズナなどの七草を入れ、およそ200食分が用意されました。

お粥のほかにも、田作(たづくり)や黒豆、れんこんなどが器に盛られ、なかでも、干し柿で作られた干支のねずみは、アイデアを出し合い、試行錯誤のうえにできあがった力作となりました。

子どもたちや来場者は1年間の無病息災を願いながら、春の七草を味わっていました。

